

2006 年度

科目名 総合演習	対象学科・学年 文学部英語3 年生	担当者 松田 晃
授業テーマ ・「人類共通の諸課題及び我が国社会全体に関わる諸課題」を視野に入れた究課題を設定し研究を深める		
授業の概要と目標 ・今世紀を生きる子どもたちは、それぞれの時代を創造していく。その過程において「地球的視野」で思考していくことが求められている。そのような子どもたちの教育に直接携わる教員は、それに相応した視野に立って思考し、行動する資質・能力が不可欠である。この授業においては、「人類共通の課題や我が国全体にかかわる諸課題」の内、いくつかの課題を設定し、問題解決的な学習法や体験的な学習法で、自らの学び方を深める。また、「総合演習」を生かした指導を行うという観点に立ち、指導法を模索し、主体的な学習を展開する。		
評価方法 ・出席(学習活動への参加度)や主体的な行動・実践姿勢 30%等を重視する。教員として身に付けるべき資質・課題解決能力の形成への努力と成長に対する「自己評価 20%・相互評価 20%」、担当教員による「指導評価 30%」を併せて総合的に評価・評定する。		
テキスト ・総合的な学習—演習論	著者 末政公徳・富村 誠 編	出版社 建 帛 社
参考書 ・適宜紹介をする。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 - 総合演習の取り組み内容と演習の進め方 「総合的な学習の時間」誕生の時代的背景 豊かな社会・国際化社会・脆弱化した人間関係・直接体験不足・畏敬の念の欠如・教科枠を超えた教育 「総合的な学習の時間」とはどのような時間か 「総合的な学習の時間」と中教審・教課審・学習指導要領 「総合的な学習の時間」は何をめざしているか 「総合的な学習の時間」のねらいと評価の仕方 「総合的な学習の時間」の課題領域 「総合演習」新設の理由と視座(グローバル社会・自然と地球環境・人々の相互理解と共生等) - 研究課題の設定について(1) 現実認識に基づき、諸課題を抽出し、研究課題を検討するとともに課題解決・課題研究の計画を作成する。(グループ可) - 研究課題の設定について(2) 現実認識に基づき、諸課題を抽出し、研究課題を検討するとともに課題解決・課題研究の計画を作成する。(グループ可) - 課題解決の追求・研究活動(1) 実地調査・見学、調査資料・記録等を収集し、研究報告書の作成をする。 - 課題解決の追求・研究活動(2) 実地調査・見学、調査資料・記録等を収集し、研究報告書の作成をする。 - 課題解決の追求・研究活動(3) 実地調査・見学、調査資料・記録等を収集し、研究報告書の作成をする。 - 研究報告会・評価会(1) 研究結果について口頭・パネル等によって発表・ディスカッション。ならびに自己評価と相互評価を行う。 - 研究報告会・評価会(2) 研究結果について口頭・パネル等によって発表・ディスカッション。ならびに自己評価と相互評価を行う。 - 研究報告会・評価会(3) 学習全体について口頭・パネル等によって発表とディスカッションならびに、自己評価と相互評価を行う。 - 研究報告会・評価会(4) 研究結果について口頭・パネル等によって発表・ディスカッション。ならびに自己評価と相互評価を行う。 - 研究実践についての集約 最終レポートの作成等		